

農産物の流通販売対応を考える ～大型直売所の比較研究から～

地域資源マネジメント学科 農山漁村マネジメントコース

■ プロジェクト内容

普段、私たちが食べている野菜・果物について調べる。

- ・どこで作られていて、どうやって価格が決まるのか？ → **基礎演習**
- ・農産物直売所って何か？ → **実践演習**
- ・愛媛県と東京の違いは、どうなのか？ → **応用演習**

卸売市場流通

松山市・統計データ
施設見学・聞き取り

2 回生前期

卸売市場外流通

統計データ
施設見学・聞き取り

2 回生後期

他県卸売市場流通

東京都・統計データ
2回生への指導

3回生前期

他県の直売所との
比較研究

自主研究

3回生後期

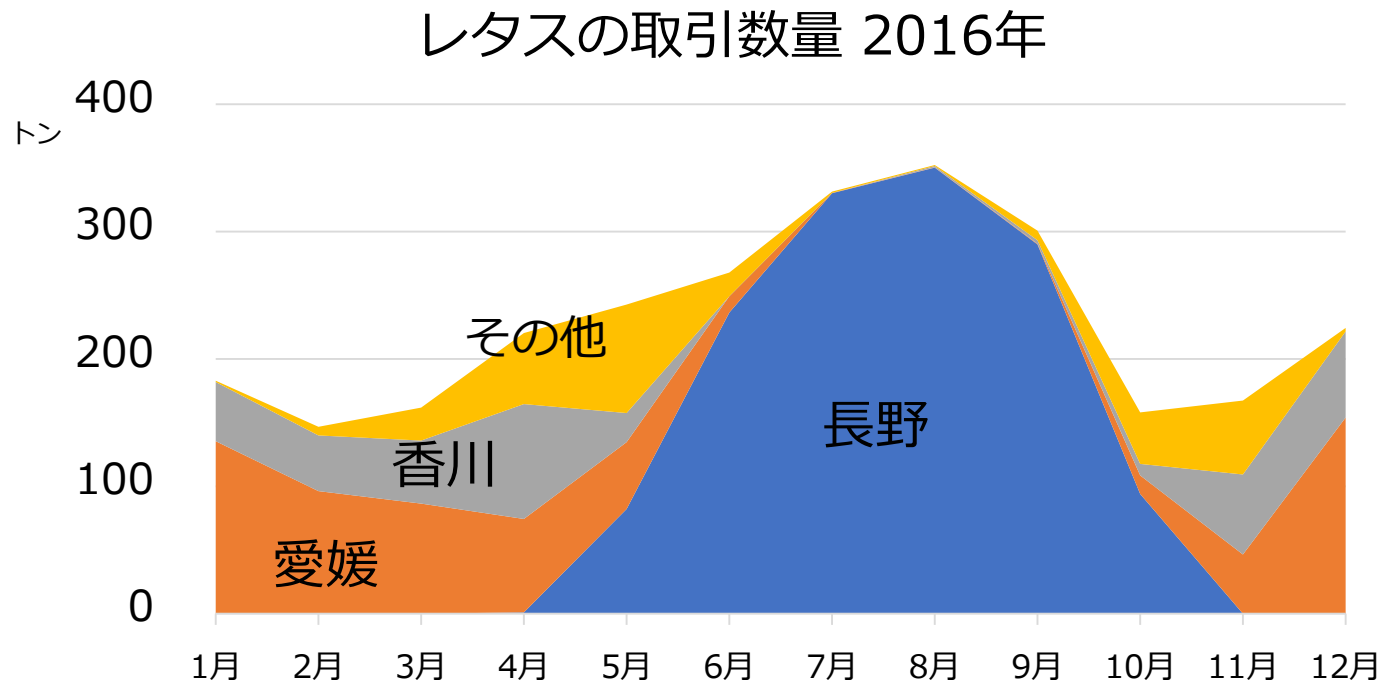
■ プロジェクト基礎演習

- 農産物流通の現状について、卸売市場をメインに学習
- 卸売市場には毎日たくさんのモノが各地から集まり、「せり」で値段が決められたのち、スーパーや八百屋へと運ばれる
- 愛媛県には松山市中央卸売市場があり、私たちの生活に欠かせない生鮮食料品（特に野菜）の供給を支えている

■ プロジェクト基礎演習

- 松山市中央卸売市場のデータから、野菜の産地をグラフ化
→ 私たちが食べている野菜（産地）の取引実態

(例) レタスの月別取引



■ 取引の特徴

- 旬の11～5月は愛媛や香川が中心
→ 四国で対応出来る。
- 6～10月は長野から仕入れる(高冷地栽培)
→ 気候的に他産地から買い入れている。

■ プロジェクト基礎演習

- 松山市中央卸売市場の見学, 市場関係者との意見交換



市場見学の様子：写真はバナナ加工所にて



市場関係者との意見交換の様子

■ プロジェクト基礎演習

- 松山市中央卸売市場の見学, 卸業者の方たちとの意見交換



市場見学の様子：場内の様子

■ プロジェクト実践演習

- 卸売市場流通を踏まえて、市場外流通の実態を探る
- 市場外流通とは・・・卸売市場を通さず、生産者と小売業などが直接取引を行うこと（産地直送, ネット販売, 農産物直売所など）
- 「愛媛県は、農産物直売所の盛んな県だぞ」 （香月先生談）
→論文等の文献を用いて学習し、現地視察 （スイーツを実食）

■ プロジェクト実践演習

- 全国トップクラスの農産物直売所「さいさいきて屋」（今治市）の施設見学, 店長との意見交換



店内の様子



木原店長との意見交換

■ プロジェクト実践演習

- 全国トップクラスの農産物直売所「さいさいきて屋」（今治市）の施設見学

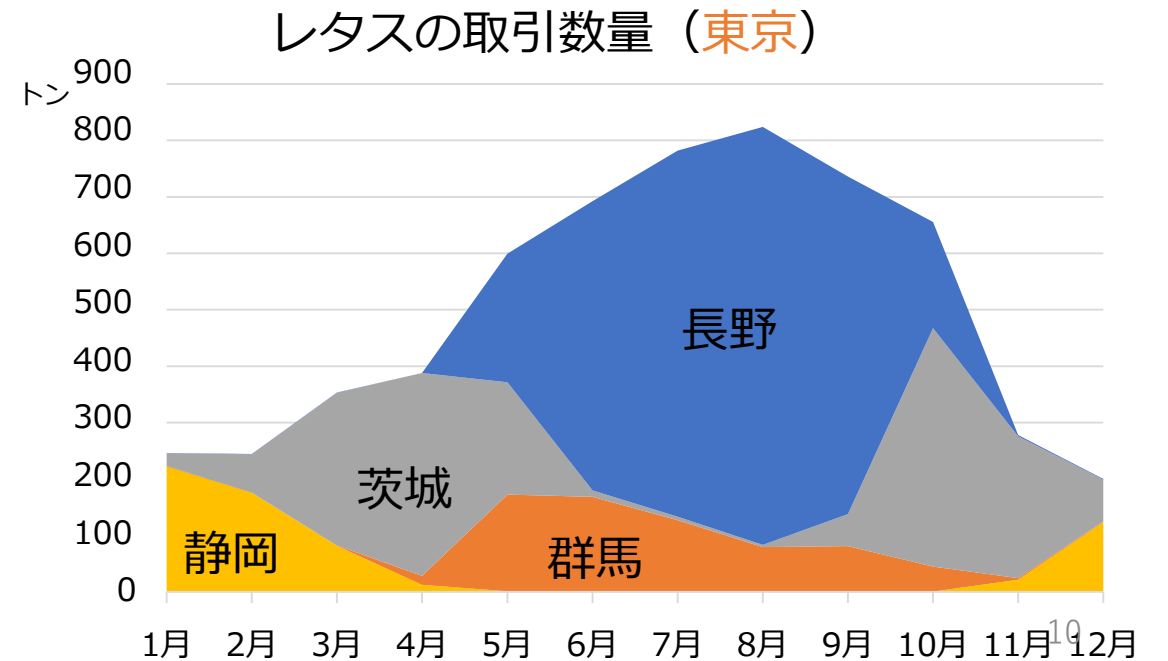
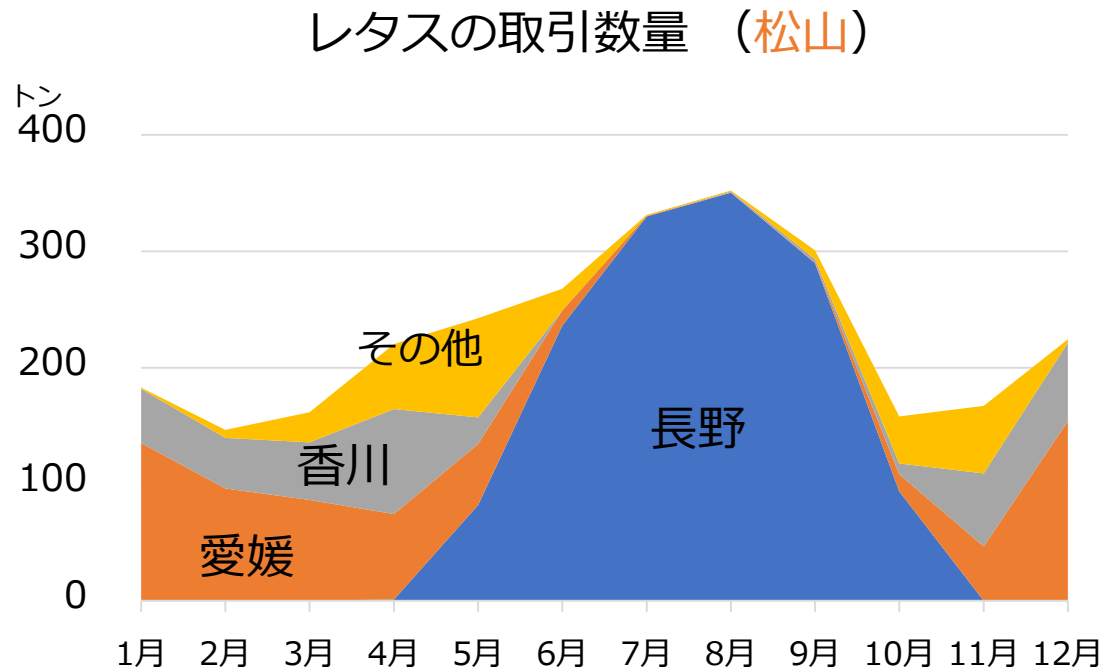


併設施設の見学（と美食）

プロジェクト応用演習

- 2回生に卸売市場のグラフの作成方法をアドバイス
- 松山中央卸売市場と東京卸売市場(大消費地)の比較

(例) レタス取引の比較



自主研究

- 「農産物直売所」に興味を持った

- 直売所は小規模農家（＝高齢農家や兼業農家）の受け皿

- 他の直売所はどうなっているのか？

研究背景

- 愛媛県は直売所の先駆けであり, 売上高は上位にランクイン

<売上高10億円以上のJA直売所 TOP10>

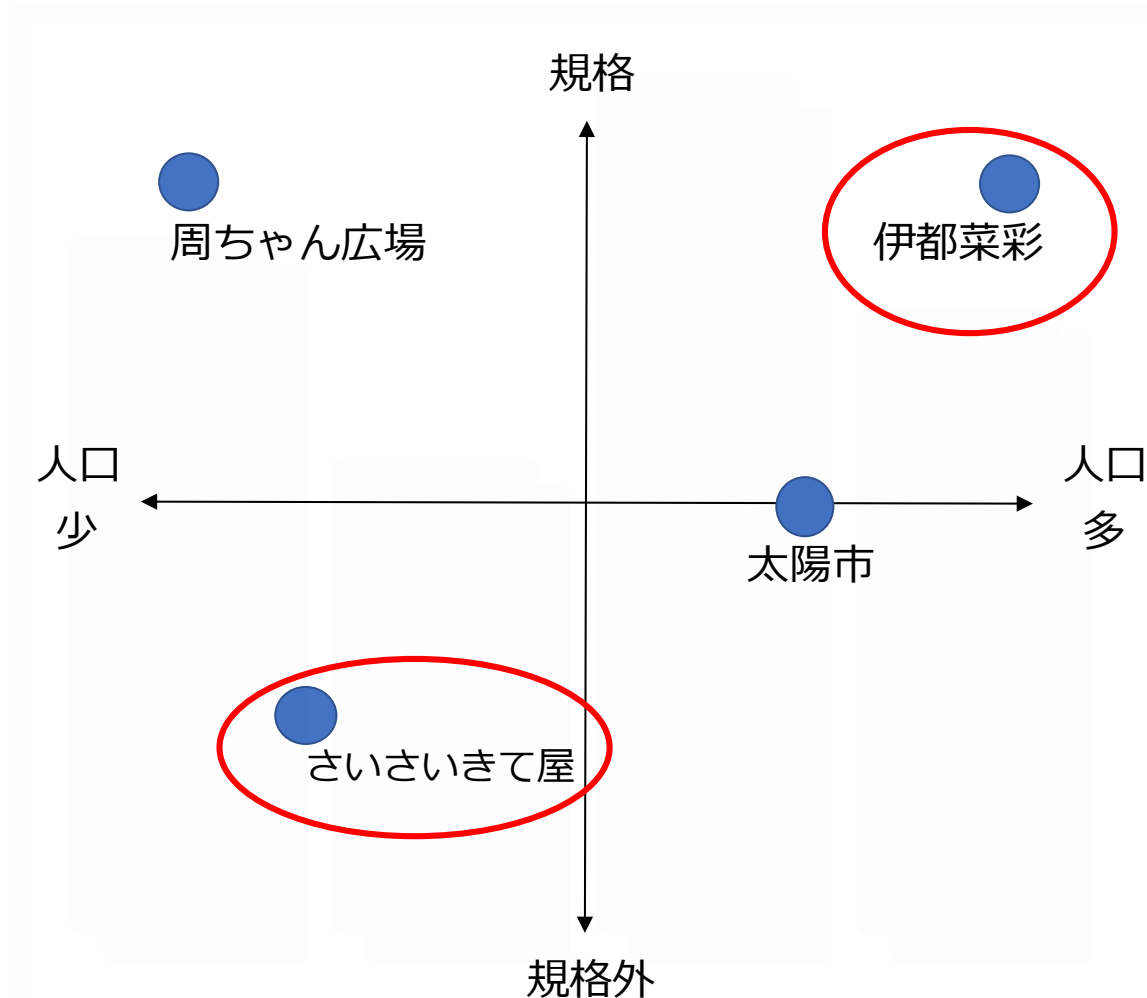
	県内	JA名	店名	売上高(百万円)
1位	福岡	糸島	伊都菜彩	4072
2位	和歌山	紀の里	めっけもん広場	2799
3位	愛媛	おちいまばり	さいさいきて屋	2180
4位	愛知	あいち知多(げんきの郷)	げんきの郷「はなまる市」	2109
5位	愛媛	周桑	周ちゃん広場	2068
6位	宮崎	都城	直売所ATOM	2009
7位	愛媛	えひめ中央	太陽市	1852
8位	愛知	あいち三河	幸田憩の農園	1702
9位	兵庫	兵庫六甲	六甲のめぐみ	1668
10位	沖縄	おきなわ	いとまん「うまんちゅ市場」	1647

引用：日本農業新聞

- 共通点として, 大型直売所であることが挙げられる

研究背景

<4店舗の特徴を示した散布図>



- 同じ大型直売所でもコンセプトが対照的な2店舗に着目
 - さいさいきて屋：人口が少なく、規格外の農産物が中心
 - 伊都菜彩：人口が増加傾向にあり、規格内の農産物が中心

研究目的

農産物直売所の比較検討

— 愛媛県さいさいきて屋と福岡県伊都菜彩の実態 —

実態調査 さいさいきて屋

■ 概要

所在地 : 愛媛県今治市中寺279-1
(JR今治駅から車で15分)

営業時間 : 9時～18時30分

売場面積 : 約1,800m²

従業員数 : 計170名

組合員数 : 1,210名

搬入時間 : 6時30分～8時30分



実態調査からみる特徴ー さいさいきて屋ー

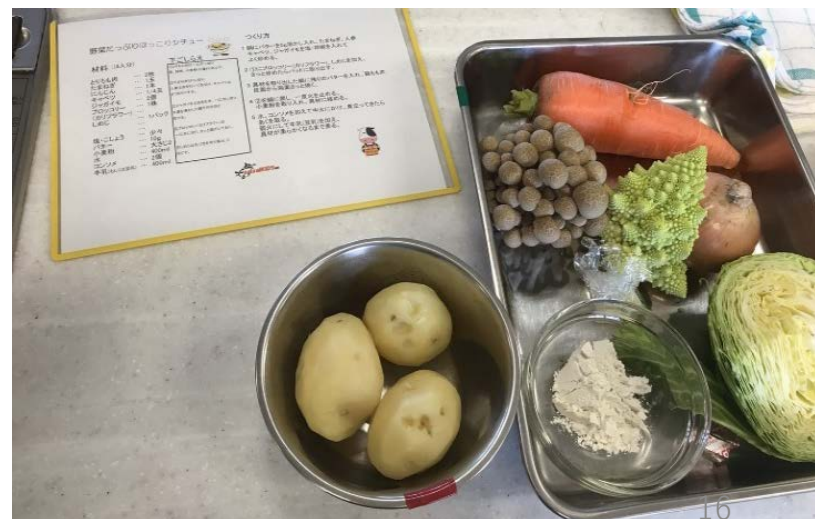
■ 特徴

<SAI&CO>

- イオンモール今治新都市内
- イタリアンレストランと焼き肉店併設

<学校給食>

- 今治市内の21校に食材提供
 - 小中学生が地元の食材を味わえる
- 農家の所得アップにもつながる



実態調査 伊都菜彩

■ 概要

所在地 : 福岡県糸島市波多江567-1
(JR博多駅から車で30分)

営業時間 : 9時～18時

売場面積 : 約1500m²

従業員数 : 計92名

組合員数 : 1,568名

搬入時間 : 5時30分～16時



実態調査からみる特徴－伊都菜彩－

■ 特徴

<ポイントカード制>


- 200円お買い上げごとに1ポイント
- 日にちや曜日によって特典がある
- 現在の会員数は1万人超え

<試食, 試飲コーナー>

- 試飲：伊都物語(JAL国内線で登用)

→ 消費者向けのサービスが充実

伊都菜彩ポイントカード 入会申込書		伊都菜彩ポイントカード	
氏名		JA糸島産直市場 伊都菜彩 ではご利用毎にポイントを貯めて商品と交換できるポイントサービスをスタートしました。お気軽にご入会ください。	
フリガナ		1 入会金 100円 ●お申し込みと同時にカードを発行します。	
性別	男性・女性	2 ご利用金額に応じたポイント ●200円お買い上げ毎に1ポイント加算します。	
生年月日	大 昭 平 年 月 日	3 貯ったポイントはいつでもご利用できます。 注：累積ポイントの計画にはポイント交換される交換分のポイントは適用されません。	
年齢	歳	会員規約 ご入会にあたり、以下の規約をよくお読みください。ご入会される方は、以下の規約にご同意いただけることとなります。	
住所	〒	第1条 目的 当社はJA糸島産直市場 伊都菜彩 が運営する店舗であり、皆様より快適な来店のご購入の場を提供することを目的とします。	
白宅電話番号		第2条 会費 会費は、本会の目的を達成し本会の活動を円滑に実施するため、入会申請をされた方を対象とします。	
携帯電話番号		第3条 入会資格 入会費、年会費は請求書にて行います。入会申請を受理された時点で入会資格となります。	
e-mail		第4条 ポイントカード 入会した会員はポイントカードを発行します。伊都菜彩でご利用される際にご利用いただけるポイントサービスを受けることができます。カードの裏面に有効期限はポイントサービスを受けることができません。	
会員No.	2113460	第5条 有効期限 本会の有効期限は有効期限日より有効とします。ポイント会員の有効期限は有効とします。ただし、有効期限満了をもっても終了後に返出する場合はその権利が失われます。	
		第6条 個人情報の取扱い 会費は、預貯金口座、住所・連絡先等の個人情報が変更が生じた場合は、速やかに伊都菜彩にご届出ください。	
		第7条 貸付・譲渡 会費は、ポイントカードや会員としての権利は、他人に貸付・譲渡することはありません。借入・預託もできません。	



研究結果 -さいさいきて屋と伊都菜彩の比較分析-

■ 相違点 「店舗以外に活動拠点がどの程度あるか」

<伊都菜彩>

→顧客サービスの向上や店舗内の充実に力を入れている

(背景) 大都市近郊に位置, 店舗が観光地化 = 集客に成功している

<さいさいきて屋>

→アンテナショップの開設や農業体験, 学校給食への食材提供など多くの活動拠点がある

(背景) 地域の活性化, 地域雇用の創出が目的とされている

研究結果 -さいさいきて屋と伊都菜彩の比較検討-

	仕入れ	鮮度	販売品	農家規模	集荷	宅配	地域雇用	給食	施設
一般スーパー	域外	△	規格外	大・中規模	-	-	△	-	-
伊都菜彩	域内	◎	規格外	中・小規模	-	-	92人	小学校8校	うどん屋（簡易）
さいさいきて屋	域内	◎	規格外	小規模	○	○	170人	幼稚園、小・中学校（21校）	カフェ・食堂、農園、クッキングスタジオ、残留農薬施設

まとめ -今後の農産物の流通販売対応を考える-

- 現代は農家の高齢化に加え、安価な輸入農産物増加の影響を受け、地域農業の維持が厳しい状況にある
- 卸売市場の経由率も同様のことから減少
- 一方で農産物直売所（高齢農家）が再評価され、地域農業の発展が期待される
- しかし卸売市場（市場流通）と直売所（市場外流通）は、“車の両輪”の関係→「卸売市場法改正」、「豊洲移転」など今後の動向を注視したい